

Web  
開催

地域振興  
に向けて

里山の  
森林再生と

里山広葉樹活用シンポジウム

第2回



参加  
無料

事前申し込み不要

令和3年

3/11 木

13:15 ~ 17:00

里山の広葉樹林は、かつての薪炭林のように利用されなくなったことで、木が高く太くなりうっそうとした森林に変化しています。これが、ナラ枯れ被害や畑での獣害を助長していると言われています。また、森林が荒れると山地災害のリスクも高まります。一方で、木が大きく成長したことで、木材としての価値は高まっていると考えられます。

里山の森林資源を有効に活用することができれば、森林を若返らせ、ナラ枯れ被害や獣害を抑制することができます。それだけではなく、地域に新たな収入、雇用を生みだし、地域振興にもつなげられます。そうしたことを目指す取組が、少しずつですが各地で始まっています。

今回のシンポジウムでは、教育・研究機関、地方自治体、国有林といった多様な主体が、それぞれの立場から里山広葉樹資源の活用に関する取組を情報発信するとともに、木材流通の立場から広葉樹市場の現状と課題について講演いただき、里山の森林再生と地域振興に向けて、皆でアイデアを出し合います。



問合せ

近畿中国森林管理局 技術普及課

TEL 06-6881-3484

FAX 06-6881-3553

E-mail [kc\\_fukyu@maff.go.jp](mailto:kc_fukyu@maff.go.jp)

主催

林野庁 近畿中国森林管理局 国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所関西支所

# シンポジウムプログラム

13:15

開会挨拶

近畿中国森林管理局  
局長 山口 琢磨

13:20 ~ 14:00

広葉樹林の利用に向けての第一歩  
－ 広葉樹林の経済的価値は？ －

森林総合研究所関西支所  
地域研究監 齊藤 哲

14:00 ~ 14:40

近畿中国森林管理局里山広葉樹林活用・再生プロジェクト報告  
－ 広葉樹材の生産・販売と伐採跡地の再生 －

近畿中国森林管理局PT  
岡山大学大学院 教授 三木 直子

14:40 ~ 15:10

里山広葉樹材需要拡大ワーキンググループ活動報告

近畿中国森林管理局WG

15:10 ~ 15:55

森を活かす飛騨市の地方創生  
－ 小径広葉樹の新たな価値の創造による「広葉樹のまちづくり」 －

15:55 ~ 16:45

変貌する広葉樹市場と川上側の意識行動変革

飛騨市 農林部 林業振興課  
課長補佐 竹田 慎二

16:45 ~ 16:55

全体質疑

※質疑はYouTubeのコメントへ記入をお願いします  
(コメントの記入にはYouTubeアカウントが必要です)

ノースジャパン素材流通協同組合  
理事長 鈴木 信哉

16:55

閉会挨拶

森林総合研究所関西支所  
支所長 桃原 郁夫

3月8日(月)以降に当局ホームページに  
ライブ配信URLを公開します  
時間になりましたら視聴可能です

<近畿中国森林管理局HP>

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/gijyutukaihatu/satoyamakouyoujyu.html>

